

令和5年度ハンセン病問題対策事業の実施実績

【全体総括】

- 岡山県ハンセン病問題対策協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

【個別課題への対応】

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

- (1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること
 - ハンセン病問題に関する講演会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 地域交流促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 啓発DVDの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用・・・・ 4
- (2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと
 - ホームページでの啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 学習用小冊子の配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業・・ 4
 - 啓発パネル等の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）・・・・・・・・ 4
 - 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課） 5
 - パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）・・・・・・ 5
- (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること
 - 交流研修会の実施等（教育庁人権教育・生徒指導課）・・・・・・・・ 5
 - 児童生徒が人権学習の成果を発信（教育庁人権教育・生徒指導課）・・ 5
 - 各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁人権教育・生徒指導課）・・ 5
 - 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁人権教育・生徒指導課）・・ 6
- (4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること
 - DVDの販売・無料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - 人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課）・・ 6
- (5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること
 - 県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・・・・・ 7
 - 啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・ 7

2 福祉増進施策の実施

- (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと
 - 議会と保健医療部による合同訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 入所者激励費の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと
 - 社会復帰支援員による支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 社会復帰推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

| | |
|--|----|
| (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと | |
| ○県営住宅の優先入居（住宅課） | 8 |
| ●住宅費の一部補助 | 8 |
| (4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと | |
| ●個別案件ごとに対応 | 9 |
| ●医療費、介護保険利用料の補助 | 9 |
| (5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと | |
| ●岡山県出身者への訪問 | 9 |
| ●意向を伺い、個別案件ごとに対応 | 9 |
| 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施 | |
| ●史料の保全に関する国への要望 | 9 |
| 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み | |
| (1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施 | |
| ●小冊子への体験談の掲載 | 10 |
| ●動画やアニメーションによる啓発 | 10 |
| (2) 関連資料・史料の収集・蓄積 | |
| ●資料集刊行、収集した史料の保存・公開 | 10 |

※●健康推進課の実施事業

※組織名については、令和5年度の組織名を記載しております。

全 体 統 括

●岡山県ハンセン病問題対策協議会

第1回

令和5年8月17日 開催

<議題>

- 1 令和4年度事業実施実績
- 2 令和5年度事業実施状況
- 3 その他

第2回

令和6年3月22日 開催

<議題>

- 1 令和5年度事業実施状況
- 2 令和6年度事業実計画
- 3 その他

個 別 課 題 へ の 対 応

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

●ハンセン病問題に関する講演会等の開催

入所者による学校講演会 実施校 10校 1,814人 (R4年度 7校 870人)

| | | | | | |
|----|--------|---------------|---------|------|----------|
| 1 | 9月5日 | 和気町立佐伯小学校 | 4～6年生 | 45人 | 担当：長島愛生園 |
| 2 | 9月7日 | 和気町立本荘小学校 | 6年生 | 52人 | 担当：長島愛生園 |
| 3 | 9月8日 | 岡山市立竜操中学校 | 1年生 | 294人 | 担当：邑久光明園 |
| 4 | 9月13日 | 岡山市立幡多小学校 | 6年生・保護者 | 180人 | 担当：長島愛生園 |
| 5 | 10月6日 | 岡山市立光南台中学校 | 3年生 | 39人 | 担当：邑久光明園 |
| 6 | 10月13日 | 就実小学校 | 6年生 | 49人 | 担当：邑久光明園 |
| 7 | 11月20日 | 美作市立作東中学校 | 2年生 | 32人 | 担当：長島愛生園 |
| 8 | 11月21日 | 岡山県立大安寺中等教育学校 | 1年生 | 163人 | 担当：長島愛生園 |
| 9 | 11月28日 | 岡山県美作高等学校 | 1～3年生 | 915人 | 担当：長島愛生園 |
| 10 | 1月18日 | 津山市立林田小学校 | 6年生 | 45人 | 担当：邑久光明園 |

参加した児童・生徒の感想(主なもの)

- ・ハンセン病にかかったら家族からも避けられ、死んでもなお差別を受けるという話を聞いて、腹が立つのと同時に辛い気持ちになった。
- ・自分が話したくないであろう過去を、勇気を出して伝えてくれたことが凄いと思った。
- ・たくさん差別されてきたのに、語り部の方が「今の願いは、今後、差別がなくなって欲しい」とおっしゃられていて、とても優しく、未来のことについて考えていて凄いと思った。
- ・差別を完全になくすことは難しいけれど、自分達がハンセン病について理解し、差別をなくしていくことが必要だ。
- ・療養所の高齢化で語り部さんから直接話を聞くことがどんどん難しくなっていくので、直接話を聞いた私たちが後世に伝えていかないといけない。

●地域交流促進事業

県民が実施する地域交流事業への補助

17件 1,099人 (R4年度 16件 1,009人)

- 啓発DVDの活用
随時 図書館等での視聴・貸出等
貸出数 15枚 (R 4年度 18枚)

・療養所訪問研修等における事前学習での使用など

- 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用
※入所者エピソード2編、歴史解説1編
(令和4年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開)
視聴回数636回 (R 4年度 1,048回)

・パネル展(県庁会場)で上映

(2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

- ホームページでの啓発
おかやまハンセン病啓発WEB www.hansen-okayama.jp
「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」
通年 公開開始：平成14年6月24日
リニューアル：令和3年2月26日
アクセス数2,681件 (R 4年度 2,853件)

- 学習用小冊子の配布
「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」
随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用
冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載
配布数5,477部 (R 4年度 5,772部)

・主な配布先 県内外の学校、教育委員会等

- 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業
ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

路面電車へ中吊り広告を掲出

期間：令和5年6月13日～6月22日

パネル展

期間：令和5年6月19日～6月30日

場所：県庁1階県民室

内容：パネル17枚や関連書籍等の展示、アニメーションの上映

- 啓発パネル等の貸出
随時 希望に応じて貸出 0件 (R 4年度 3件)

- 人権啓発研修(人権・男女共同参画課、保健医療課)
県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立つ研修を実施。

令和6年1月22日 邑久光明園 23名

○人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）
 民間団体との協働による人権尊重社会の実現を目指して、人権意識の高揚を目的に活動する団体が行う人権啓発事業に対し、その実施に係る経費の一部を補助。
 補助団体名：公益財団法人邑久光明園友愛会
 補助事業名：人権啓発展示会他
 交付決定額：150,000円
 関連啓発として、令和5年12月9日（土）開催の「ハートフルフェスタ 2023おかやま」でロビー展示を実施。

○パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）
 随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー（200か所）での情報提供

(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

○交流研修会の実施等（教育庁所管 岡山県総合教育センター）
 国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施した。

- ・人権教育担当者研修講座
 邑久光明園において、令和5年9月22日（金）に実施（参加者18人）

○児童生徒の人権学習の成果を発信（教育庁人権教育・生徒指導課）
 人権学習の成果を踏まえた人権啓発メッセージ動画作品を募集。
 （令和5年度「わたしの人権メッセージ動画チャレンジ」）
 R5 優秀賞作品 → 教育庁人権教育・生徒指導課のホームページに掲載。
 （ハンセン病問題について1作品）

○各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明
 （教育庁人権教育・生徒指導課）
 市町村教育委員会の人権教育担当者、各学校の人権教育担当者、初任者等を対象にした研修会で、資料を配付し、説明を行った。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて(県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと正しく知っていますか？」等の紹介、配付)

- 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁人権教育・生徒指導課）
 授業等で活用できる指導資料（「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「ワークショップ（下）」「人権学習実践事例集」「なかおしんじ物語」）、視聴覚教材等について各種研修会で紹介し活用を促した。

<作品名>

- ・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病から学ぶ～」
（字幕入り）（平成30年2月改訂作品）
- ・YouTube 法務省チャンネル「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」
- ・NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材（校内研修用）：「差別の連鎖を絶つーハンセン病問題から学び、伝えるー」

※「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「人権学習実践事例集」は、人権教育・生徒指導課HPに掲載。

(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 民間による販売、健康推進課・県立図書館において無料貸出

- ①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円
ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分
語り部証言集12名：157分
- ②「今、わたしたちができること」1,000円
小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分
- ③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」（無料貸出のみ）
入所者との交流や語り部講演、人権教育の場として長島の紹介30分
- ④「語り部講演映像」（無料貸出のみ）
4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

販売数 1枚（R4年度 7枚）、貸出数 15枚（R4年度 18枚）

○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課）

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、長島愛生園において現地研修を行った。

実施日：令和5年7月27日（木）

受講者：23名

研修内容：講義、フィールドワーク、資料展示室見学

○市町村人権教育担当者等連絡会の実施

歌手 沢 知恵 氏 の講演会を行った。沢氏のハンセン病療養所での入所者との交流、療養所の園歌の研究などを通し、人権を尊重することの大切さについて考える内容。

実施日：令和6年1月19日（金）

受講者：29名

(5)若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6)主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）

県内市町村立図書館にも、ハンセン病関連の蔵書あり

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

7月 「岡山県立図書館所蔵ハンセン病関係資料目録」の作成及び関係機関への送付

○啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）

令和5年5月17日～7月17日 県立図書館2階 郷土資料部門 にて
「学ぼう！ハンセン病問題」展示

- ・パネル12枚と関連資料約100点を展示
- ・県や療養所作成のリーフレット等を配付

2 福祉増進施策の実施

(1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

● 議会と保健医療部による合同訪問

令和5年7月3日、6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて、環境文化保健子ども福祉委員長及び保健医療部次長が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。

- ・ 「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」施行後の状況、入所者の高齢化及びそれに伴う職員の人員、今年度の花火(夏祭り)、療養所での最近の生活の話などをした。

● 入所者激励費の贈呈（ハンセン病療養所入所者に対するもの）

令和5年12月25日に副知事が訪問し、贈呈

対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。

- ・ 将来構想、入所者の高齢化及びそれに伴う職員の人員、教員や県職員の人権教育について要望を伺った。

(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

● 社会復帰支援員による支援活動

平成23年度末をもって、活動終了

● 社会復帰推進事業

療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助

2件 153人（R4年度 2件 153人）

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

○ 県営住宅の優先入居（住宅課）

年4回 健康推進課及び住宅課において対応 実績0件

● 住宅費の一部補助

随時 生活保護基準により支給（例）岡山市（単身）37,000円/月

「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」 実績0件

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

●個別案件ごとに対応

随時 関係自治体、医療機関との協議

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

社会復帰者については、健康推進課
で随時対応 要望等は特になし

●医療費、介護保険利用料の補助

随時 (例) 自己負担上限(市民税非課税): 医療費、介護費 各15,000円/月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」 実績 0 件

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

●岡山県出身者への訪問

- ・令和5年7月3日 長島愛生園 4名

訪問時に、見舞金と里帰り助成金を贈呈した。新型コロナウイルス感染症の影響及び県人会の方の高齢化に伴い、個別の面談は難しい状況にある。

- ・令和5年6月28日 神山復生病院 1名

- ・令和5年6月29日 多摩全生園 1名

訪問時に、見舞金及び里帰り助成金を贈呈し、近況や県への要望などを伺った。

<県外療養所入所者訪問時の状況>

・お二人とも元気なご様子だったが、年齢やコロナもあり岡山県を訪問できないことを残念がっておられた。

●意向を伺い、個別案件ごとに対応

里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

●史料の保全に関する国への要望

令和6年度重点要望

<内容>

将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。
ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

(参考)

国の登録有形文化財として登録(平成31年3月)

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

(1)ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施

自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

●小冊子への体験談の掲載

通年 入所者の体験談を掲載した小冊子を、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

【再掲】

問い合わせのあった学校、市教育委員会等へ配付
学習用小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」 配布数 5,477 部

●動画やアニメーションによる啓発

通年 語り部証言や体験談の動画やアニメーションを展示会や人権学習の場で活用（令和4年度アニメーション作成、令和5年度パネル作成）

(2)関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

●資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館において、史料の公開（平成27年1月6日～）。
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

※●健康推進課の実施事業

令和5年度 ハンセン病問題に対する取組（健康推進課）

- ハンセン病問題に関する講演会等の開催（P.3）



- ハンセン病問題に関する普及啓発（路面電車への中吊り広告掲出）（P.4）



- ハンセン病問題に関する普及啓発（パネル展の開催）（P.4）



- 県議会委員長、副知事による入所者訪問（懇談、献花、激励費等の贈呈）（P.8）



令和 6 年度ハンセン病問題対策事業の実施状況

【全体総括】

- 岡山県ハンセン病問題対策協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

【個別課題への対応】

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

- (1) 単なるパンフレットの配布等ではなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること
 - ハンセン病問題に関する講演会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 地域交流促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 啓発DVDの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用・・・・・・ 3
- (2) ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと
 - ホームページでの啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 学習用小冊子の配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業・・・ 4
 - 啓発パネル等の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - 人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）・・・・・・・・・・・・ 5
 - 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）・・・ 5
 - パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）・・・・・・・・・・・・ 5
- (3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること
 - 交流研修会の実施等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - 各種研修会における「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の配付・説明（教育庁）・・・ 5
 - 人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること
 - DVDの販売・無料貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - 人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育、生徒指導課）・・・ 6
- (5) 若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること
 - 県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）・・・・・・・・・・・・ 7

2 福祉増進施策の実施

- (1) 入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと
 - 議会と保健医療部による合同訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 入所者激励費の贈呈・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと
 - 社会復帰支援員による支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 社会復帰推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

| | |
|--|----|
| (3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと | |
| ○県営住宅の優先入居（住宅課） | 8 |
| ●住宅費の一部補助 | 8 |
| (4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと | |
| ●個別案件ごとに対応 | 8 |
| ●医療費、介護保険利用料の補助 | 8 |
| (5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと | |
| ●岡山県出身者への訪問 | 9 |
| ●意向を伺い、個別案件ごとに対応 | 9 |
| 3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施 | |
| ●史料の保全に関する国への要望 | 9 |
| 4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み | |
| (1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施 | |
| ●小冊子への体験談の掲載 | 10 |
| ●動画やアニメーションによる啓発 | 10 |
| (2) 関連資料・史料の収集・蓄積 | |
| ●資料集刊行、収集した史料の保存・公開 | 10 |

※●疾病感染症対策課の実施事業

全 体 統 括

●岡山県ハンセン病問題対策協議会

第1回

令和6年8月27日 開催

<議題>

- 1 令和5年度事業実施実績
- 2 令和6年度事業実施状況
- 3 その他

第2回

令和7年3月 開催予定

個 別 課 題 へ の 対 応

1 偏見・差別解消のための啓発事業のきめ細やかな実施

(1)単なるパンフレットの配布等でなく、啓発資材を活用した語り部等による伝承、対話集会の実施等きめ細やかな事業実施を工夫すること

- ハンセン病問題に関する講演会等の開催 語り部講演会 3校で実施予定

内訳は、中学校2校、中等教育学校1校

- 地域交流促進事業
県民が実施する地域交流事業への補助
随時 22件を予定
申請件数8件、586人（7月末現在）

- 啓発DVDの活用
随時 図書館等での視聴・貸出等
貸出数 9枚（R6.7月末時点）

・療養所訪問研修等における事前学習での使用など

- 小中学生向けハンセン病問題啓発アニメーション動画の活用
※入所者エピソード2編、歴史解説1編
（令和4年3月ホームページ・YouTubeにて一般公開）

視聴回数 174回（～R6.7月末時点）

・パネル展（県庁会場）で動画を紹介するマンガ形式のパネルを展示し、動画を上映
・他団体のイベントでの上映

(2)ハンセン病に関する正しい情報提供を行うこと

●ホームページでの啓発

おokayamaハンセン病啓発WEB www.hansen-okayama.jp

「ハンセン病を正しく理解するために～みんなで描くひとつの道～」

通年 公開開始：H14.6.24

リニューアル：R3.2.26

アクセス数 734件 (R6.4.1～R6.7.31)

●学習用小冊子の配布

「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」

随時 学校・市町村等へ配布、長島愛生園歴史館・邑久光明園等での活用
冊子配布に加えホームページに冊子のPDFデータを掲載

配布数 2,315部 (令和6年8月現在)

問い合わせのあった学校、市教育委員会等へ配付

●6月22日「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」関連事業

ハンセン病問題に関する普及啓発及びパネル展開催に係る各種広報

路面電車へ中吊り広告を掲出

期間：令和6年6月13日（木）から
6月22日（土）まで



パネル展

期間：令和6年6月17日（月）から6月28日（金）まで

場所：県庁1階県民室

内容：パネル21枚や関連書籍等の展示、
アニメーションの上映



- 啓発パネル等の貸出
随時 希望に応じて貸出

- 人権啓発研修（人権・男女共同参画課、保健医療課）
県職員が療養所を訪問し、その歴史と現状を学ぶとともに、人権についての正しい理解と認識を深め、人権行政の担い手としての資質の向上に役立てる。
令和7年1月中～下旬（予定） 長島愛生園 30名参加見込

- 人権啓発パートナーシップ推進事業費補助金（人権・男女共同参画課）
民間団体との協働による人権尊重社会の実現を目指して、人権意識の高揚を目的に活動する団体が行う人権啓発事業に対し、その実施に係る経費の一部を補助。
補助団体名：公益財団法人邑久光明園友愛会
補助事業名：人権啓発展示会他
交付決定額：150,000円

- パンフレット等の設置、配布（人権・男女共同参画課）
随時 公民館・図書館等の公共施設に設置した人権情報コーナー(200か所)での情報提供

(3) 道徳副読本問題が提起した偏見・差別の無意識な助長に配慮し、学校教育の中の人権教育において取り上げること

- 交流研修会の実施等（教育庁）
国立療養所の園長による講義、入所者による講話等を通して、ハンセン病問題についての正しい理解を図る研修を実施する。

・人権教育担当者研修講座
邑久光明園において、令和6年9月20日（金）に定員20人で実施予定

- 各種研修会における、「第4次岡山県人権教育推進プラン」等の説明
(教育庁)
市町村の人権教育担当者、各学校の人権教育担当者、初任者等を対象にした研修会で、資料を配付し、説明を行う。

<配付資料・説明の内容>

- ・「第4次岡山県人権教育推進プラン」について
- ・「人権問題に関する県民意識調査(令和元年8月調査)」結果概要について
- ・ハンセン病問題学習の充実に向けて(県の事業、小冊子「ハンセン病問題のこと 正しく知っていますか?」等の紹介、配付)

○人権教育指導資料の活用の促進等（教育庁）

授業等で活用できる指導資料（「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」「ワークショップ（下）」「人権学習実践事例集」等）や視聴覚教材等について各種研修会で紹介し、活用を促す。

<作品名>

・普及啓発DVD「未来への絆～ハンセン病から学ぶ～」

（字幕入り）（平成30年2月改訂作品）

・YouTube 法務省チャンネル「ハンセン病問題を知る～元患者と家族の思い～」

・NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材（校内研修用）：「差別の連鎖を絶つーハンセン病問題から学び、伝えるー」

※「人権教育実践事例集・環境づくり編」「人権学習ワークシート集（上）」は、人権教育・生徒指導課HPでも紹介している。

(4) 高齢者等への理解を深めるために社会教育活動として生涯学習（出前講座）にも取り組むなど人権意識の涵養をさらに推進すること

●DVDの販売・無料貸出

通年 民間による販売、疾病感染症対策課・県立図書館において無料貸出

①「ハンセン病を正しく理解するために」3,000円

ハンセン病全般がわかる啓発DVD29分

語り部証言集12名：157分

②「今、わたしたちができること」1,000円

小・中・高校生向けハンセン病啓発DVD14分

③「未来への絆～ハンセン病問題から学ぶ～」（無料貸出のみ）

入所者との交流や語り部講演、人権教育の場として長島の紹介30分

④「語り部講演映像」（無料貸出のみ）

4名の語り部講演映像の啓発DVD136分

販売数 4枚（令和6年7月末現在）（①②のみ）

貸出数 9枚（令和6年7月末現在）

○人権教育・啓発指導者講座Ⅰの実施

（人権・男女共同参画課、教育庁人権教育・生徒指導課）

人権問題の早期解決に向けて人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身につけるための教育・啓発活動を推進できる指導者を養成するため、全4回の研修のうちの一つとして、邑久光明園において現地研修を行う。

実施日：令和6年10月4日（金）

受講者：33名（予定）

研修内容：講義、フィールドワーク、資料展示室見学

(5)若い世代に対する啓発は、ハンセン病の正しい知識についてストレートに伝えていくこと

各啓発活動の中で配慮

(6)主要公立図書館にハンセン病関連文献コーナーを設置すること

○県立図書館への設置（教育庁所管 県立図書館）

県内市町村立図書館にも、ハンセン病関連の蔵書あり

通年 ハンセン病関連文献コーナーを設置

7月 「岡山県立図書館所蔵ハンセン病関係資料目録」の作成及び関係機関への送付

○啓発パネル・関連図書の展示（教育庁所管 県立図書館）

県立図書館1階 ティーンズコーナーにて「学ぼう！ハンセン病問題」展示

- ・パネル12枚と関連資料約100点を展示
- ・県や療養所作成のリーフレット等を配付



2 福祉増進施策の実施

(1)入所者を訪問し、県に対する要望などの意向調査を行うこと

●議会と保健医療部による合同訪問

令和6年7月8日、6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて、環境文化保健子ども福祉委員長及び保健医療部次長が長島愛生園及び邑久光明園を訪問

納骨堂への献花。園長、自治会役員と懇談。

コロナ後の啓発活動状況について情報共有したほか、今年度の花火（夏祭り）、療養所での最近の生活の話や今後の療養所のあり方についての話などをした。



- 入所者激励費の贈呈（ハンセン病療養所入所者に対するもの）
例年、12月に県幹部が訪問し、贈呈
対象：長島愛生園及び邑久光明園の入所者全員

(2) 社会復帰支援員を設置し、社会復帰希望者からの相談に対応するとともに、当面、住宅、医療等の確保が求められている状況を受けて、継続的に入所者及び親族や関係市町村等との連絡調整等の支援を行うこと

- 社会復帰支援員による支援活動
平成23年度末をもって、活動終了
- 社会復帰推進事業
療養所全体としての社会復帰を推進するため、療養所を訪問して行う、交流活動への補助
随時 約5件を予定
申請件数4件、356人（7月末現在）

(3) 住宅の確保について、関係市町村とも十分連携しながら公営住宅の優先入居や民間住宅の入居斡旋等の支援を行うこと

- 県営住宅の優先入居（住宅課）
年4回 疾病感染症対策課及び住宅課において対応

- 住宅費の一部補助
随時 生活保護基準により支給（例）岡山市（単身）37,000円／月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(4) 医療の確保について、退所者に対する在宅医療の確保や療養所の協力医師、協力医療機関の確保、医療関係者の研修を目的として、療養所、入所者自治会と関係自治体、医療関係団体等との協議の場を設ける等の支援を行うこと

- 個別案件ごとに対応
随時 関係自治体、医療機関との協議

社会復帰者については、
疾病感染症対策課で随時
対応

社会復帰希望者の要望を踏まえ、関係自治体や医療機関等と連絡調整

- 医療費、介護保険利用料の補助
随時 自己負担上限（市民税非課税） ・医療費、介護費 各15,000円／月
「岡山県ハンセン病療養所等退所者助成金支給要領」

(5) 本人の希望に応じ、里帰り希望者には個別対応を行うこと

●岡山県出身者への訪問

- ・令和6年7月8日 長島愛生園 4名
訪問時に、見舞金と里帰り助成金を贈呈した。県人会の方の高齢化に伴い、個別の面談は難しい状況にある。
- ・令和6年7月23日、24日
多摩全生園 1名
神山復生病院 1名
保健医療部長及び疾病感染症対策課職員が訪問し、見舞金及び里帰り助成金を贈呈した。
また、県への要望等をお伺いした。



< 県外療養所入所者訪問時の状況 >

- ・お二人とも元気なご様子で、普段の療養所での生活の様子などを話してください、療養所の職員が親切にしてくれることに感謝されていた。
- ・高齢で、車いすでの生活ということもあり、里帰りは難しい状況にあるとのことだった。
- ・県への要望などをお伺いしたが、特別な要望ということはなく、岡山県から毎年職員が訪ね、話ができることを楽しみにしてくださっていた。

●意向を伺い、個別案件ごとに対応

里帰り、墓参りへの支援等について個別案件ごとに対応

3 両園保有史料の保全策に関する国への要望の実施

●史料の保全に関する国への要望

令和7年度重点要望

(参考)

国の登録有形文化財として登録（平成31年3月）

【長島愛生園】旧事務本館など5件

【邑久光明園】恩賜会館など5件

内容：将来構想の実現に向け、全力で取り組むこと。
ハンセン病療養所が保有する歴史的建造物や過去の貴重な文献等の資料を保全し、普及啓発に活用すること。

4 今後体制を整えた上で、さらに行う取り組み

(1) ハンセン病療養所入所者に対する聞き取り調査の実施

自治会及び園当局の協力を得て、聞き取り調査を実施し、了解が得られる方の聞き取り調査結果については、啓発資料として活用すること

●小冊子への体験談の掲載

随時 入所者の体験談を掲載した小冊子「ハンセン病のこと正しく知っていますか？」を、学校・市町村等へ配布し、語り部講演会、学校等での人権学習に活用

配付部数 2,315部（8月現在）

掲載して活用中

配付先(主なもの)
学校、市教育委員会等

●動画やアニメーションによる啓発

通年 語り部証言や体験談の動画やアニメーションを展示会や人権学習の場で活用（令和4年度アニメーション作成、令和5年度パネル作成、令和6年度動画作成）

令和6年度は、大学生が療養所で研修を行い、学んだことを基に地域の子ども達に伝えるワークショップの様子を撮影した動画を作成予定。
作成した動画はホームページで公開し活用する。

(2) 関連資料・史料の収集・蓄積

広く県民に対して関連資料の提供を呼びかけるとともに、歴史研究者の協力を得て、岡山県及び市町村保存史料等の調査・研究を進め、偏見・差別解消に向けた取組みの一環として、これらの調査・研究を通じて明らかにされる事実を題材として、県民に対する啓発を行うこと

●資料集刊行、収集した史料の保存・公開

通年 平成20年度までに刊行した資料集制作の際等に収集した史料を、平成21年度末に県立記録資料館へ引き継ぎ済。

県立記録資料館において、史料の公開（平成27年1月6日～）。
なお、史料開示の相談があった場合は、個別案件ごとに対応している。

※●疾病感染症対策課の実施事業